2024年 7月14日

第1号

オーケストラキッズニュース 夏号

発行者
きよ原 あ由実

七月十四日のこども定期えんそう会の後、指き者のすず木さん人さんとピアニストの牛田さんにインタビューしました。

指きはどうやって始めたの？

たとえばバイオリンを始めるならバイオリン教室があるけど、指きはどうするんだろうと思い聞いてみました。

指きには指き教室というのはなくて習ったことはないそうです。元々ピアノがすきでピアニストとしてオーケストラと仕事をしていて、曲やオーケストラのメンバーによって音楽がかわったり、まわりの人達とこきゅうを合わせてえんそうするというのがいいなと感じて自ぜんに指き者を目指すようになり、いつの間にか指き者になっていたそうです。

チェンバロをひきながら指きをするすず木さん（7/14サントリーホール）

一番うまくいったえんそうは？

今までのたくさんのえんそうの中で、どんなえんそうがさい高だったかを知りたくてしつ問しました。

どれと答えるのはむずかしいけど、毎回のコンサートがしげきになっているそうです。本当の音楽を知っている人といっしょにえんそうする時、その人から出てくる音楽がしげきになっていい後味みたいになることがたくさんあるそうです。どのえんそうでもうまく行ったところ、むずかしかったところがあって、終わった後に楽しかった、面白かったと思えるのだそうです。

しっぱいについては、大しっぱいはないけど、ここはああもっとこうしたらいいなと思うことが一分に一回はあるし、ふりが1ミリへびっくりです！ちがったなとか反せいすることがつねにあるそうです。

それから、どのえんそうでも、たくさんのはく手をもらえることで、いつもさい後は幸せに終わることができると言われたのが心にのこりました。

記ねん写真
とくは員とすず木さん（後列右）、牛田さん（左）

オーケストラ豆知しき なぜ楽きによって数がちがうの？

オーケストラを聞きに行くと、楽きによってえんそう者の人数がちがってふしぎに思いませんか？私はいつもバイオリンだけ数が多いのが気になっていました。このしつ問にサントリーホールの人が答えてくれました。実は、コンサートを開さいする方が楽きのしゅるいや数を決めているのだそうです。指き者の人が決めていると思っていたのでおどろきました。

会場と楽きの大きさによって音の大きさがちがうので、そのバランスで使う楽きを決めます。バイオリンの数で型があり、今回のえんそうは14型でバイオリンは二人で一組なので大きいオーケストラでは音を大きくするために二人ずつふえて、16、18型になります。